

「一年生」

作 菅原悠人

登場人物

- ・ 先生
- ・ 佐藤 学（サトウ マナブ）
- ・ 小林 夏帆（コバヤシ カホ）
- ・ 寝太郎（ネタロウ）

とある学校の一年生の教室での出来事。教室内にいるのは四人、一人が担任の先生で、残りの三人は生徒。一人目は頭の良さそうな生徒で、二人目は元気な生徒、三人目の生徒は机につつぷして寝ている。一見問題なさそうに見えるが、そこには見えてすぐに分かる問題がある。生徒が明らかに小学一年生の見た目ではない。先生は黒板の前に立っており、三人の生徒は先生を前にして自分の机に座っている。先生がため息を深くつく

先生 はあ……。

夏帆 先生ため息してどうしたの？

先生 いや、それがな……。

先生が話そうとすると、メガネをかけた頭の良さそうな生徒が勢い良く手を挙げ席を立つ。

佐藤 先生、僕の調べでは、ため息という行為は腹式呼吸により肺を大きく動かし自律神経活動を整え、ストレスを軽減させると科学的に証明されています。従って、先生はため息を多用するべきと考えます。以上です。

佐藤が話し終わり勢い良く席に座る。

先生 あー、なんかありがとな。

佐藤 いえ、当然のことを言っただけです。

夏帆 へーメガネ君って本当に頭良いんだ。

佐藤 メガネ君とは失礼な、僕には両親がつけてくれた佐藤学って名前があるんです。

先生 君そんな名前だったのか。

夏帆 先生覚えてなかったの？じゃあ私は？

先生 ……私からみたら私は私、あなたからみたらあなたは私、私はあなたであなたは私、

you は *me* であり、又は *me* は *you* でもあるわけだ。

夏帆 先生うるさい。

先生 すまん、

夏帆 まあ、許してやるよ。私は小林夏帆だよ。覚えてるよね？

先生 そうか……。実は君たちに話さなきゃならないことがあるんだ。

夏帆 なに？

先生 先生な、自分の目に信じられない物が写っているんだ。

夏帆は立ち上がる。後ろを振り向く。

夏帆 全裸のおっさん！？

先生 それは確かに信じられないが違う。

先生は意を決し自分が思っていることを話す。

先生 君たち本当に小学一年生か？

佐藤 先生

佐藤は先生の近くに行って話す。

佐藤 僕は正真正銘の七歳です。

先生 いやそんな訳……。

先生が話そうとするのを遮り。

佐藤 先生、そういう設定です。諦めてください。

先生 なんだよ設定って。

夏帆 因みに私は六歳……の設定。

先生 だからその設定って……。

先生が話しているのを遮り

佐藤 先生、授業を始めてください。隣のクラスより昨日の時点で37%の遅れを生じています。

先生迷うが、仕方なく授業を始めようとする。

先生 分かった。っとその前に、あいつどうにかならないのか。

先生は寝ている生徒に指を指しつつ言う。

夏帆 ああ、寝太郎君は起こさない方がいいよ、起きたら凄くうるさいの。

先生 そんなわけにはいけないだろ……。寝太郎って？

夏帆 本名。

先生疑問に思いつつ寝太郎を起こそうとする。

先生 おーい、寝太郎、授業が始まるぞ、寝太郎。

寝太郎は起き上がり、教室内を動き回る。

寝太 はい！昨日ご飯の代わりにばんそこを腕に貼りましたが、まさかサッカーボールを渡されるとは思わず慌てて中華鍋を持ち出し対抗しようとしたら、僕の心は穏やかになってしまい負けてしまいました。でも僕はバスケ派なんです。

寝太郎はまた寝始める。

先生 先生こんな良く分かんない気持ちになったのは初めてだよ。

夏帆 そっとおきましょ、可哀想な人なんです。

佐藤 授業をお願いします。

先生は寝太郎を起こすことを諦め授業を始める。

先生 じゃあ授業始めるぞ、昨日は・・・二桁の足し算を教えたよな。

佐藤 先生、補足させてもらうなら一桁の足し算もしました。

夏帆 してないよ。

佐藤 君の記憶力はハトとイコールで結ばれているから大丈夫ですよ。

夏帆 ハトさん可愛いよね。

先生 じゃあ昨日の復習からだ。11+12これ解けるか？

夏帆 先生、指の数が足りません。

先生 そういう時はひっ算を使うんだ。

夏帆 ひっ算・・・、ああ、あれね、はいはい、あれかー。

先生 じゃあ、小林答えてくれ。

夏帆は無言で下を向く。

先生 どうした？分からないのか？

夏帆は縮こまり視線を斜め後ろに移動した。

先生 じゃあ、佐藤はどうだ？

佐藤 先生、少し時間を頂けないでしょうか

先生 分かった。

佐藤はブツブツ何かを話しながらノートで計算をしていく。

佐藤 先生解けました。

先生 答えは？

佐藤 23です。

先生 正解だ。

佐藤 当然ですね。こんな問題も解けない人間なんてこの世の中にはいませんよ。

夏帆 先生、どっかのメガネずれ男が私に皮肉を言ってきます。

佐藤 僕のメガネはずれていない、ずれているのは君の頭だ。

夏帆 先生今からこのクラスは戦場と化します。

先生 なに言ってるんだ？

佐藤 いいでしょう、今は亡きピー、ス・リーから学んだ格闘技をお見せしましょう。

夏帆 では私は、ピー、キュアから学んだ戦い方で、あなたを、消す。

二人は席から立ち、お互いを目の前にし、今にも喧嘩が始まりそうになる。

先生 おい喧嘩はやめろ、

夏帆 先生、これは喧嘩ではありません。これはプライドの戦いです。

先生 なに言ってるか分からないが、とにかくやめろ。

佐藤 先生、男子同士には拳でしか語れない想いがあるんです。

夏帆 私は女。

ヒートアップしそうなのを先生は感じ慌てて話を変える。

先生 ああー、そうだと来週みんなが楽しみにしていた遠足があるな。

夏帆 遠足！そうだと、来週は待ちに待った遠足なんだ。

佐藤 ふん、郷に入っては郷に従えってやつか

先生 佐藤、本当に小学一年か？

佐藤 そうですが、なにか問題でも。

先生 問題だらけなんだが。

佐藤 続きをどうぞ。

先生は佐藤のことを不審な目で見つっ話しを続ける。

先生 来週の金曜日、ここから見えるあの山に登るって話はしたよな

夏帆 なんとか山になんとか道を通り、なんとかバスでなんとか先生となんとか教頭と一緒に登るんだよね。

先生 覚え漏らしが多いがその通りだ、あとなんとか先生は俺な

夏帆 先生も一緒に行くの？ビックリ。

先生 担任だからな。

佐藤 先生、話の続きを

先生 ああ、そうだな。遠足は弁当持参だぞ、忘れてないだろうな？おやつは500円までだ。

寝太郎は突然起き出し。

寝太 先生、バナナはおやつに入りますか？

先生 バナナは主食だ

寝太 ガーン

寝太郎はまた寝だす。

夏帆 バナナって主食なんだね、知らなかった

佐藤は勢いよく手を挙げ、席を立つ

佐藤 先生は唐揚げをおかずにバナナを食べているのでしょうか？それは
夏帆 気持ち悪。ありえない。

先生は生徒の発言に少し腹を立てる

先生 おい、さすがに先生に対してその口の利き方ないんじゃないか。

夏帆 先生ってそんなに偉いんですか。

先生 え。

夏帆の口調が突然変わり。

夏帆 先生の言ってることが全部正しいんですか？先生の言う通りに行動して私自身が成長できるんですか？学校で学んだことなんて多くの場合社会に出て役に立たないんですよ。学生を卒業して大人の世界に入学してからが本当の学習なんです。

先生 急にどうした。

佐藤も席を立つ。

佐藤 セミというのは成虫になってから一週間しか生きることは出来ない。と勘違いしている方が多いのです。ですが、本来セミは三週間から一か月、長い場合では二カ月生きるセミもいると言われているのです。驚きですよね。

先生 どこに喋っているんだ？

先生の言葉を遮るようにチャイムが鳴り響く。

夏帆 じゃあ先生、私帰ります。ペットに餌をあげないといけないので。

先生 帰りの会は。

佐藤 僕も帰ります。三十分後にKUMONとの約束が控えていますので。

先生 佐藤まで・・・どうなってんだよ。

寝る子はゆっくり起き出し。先生を励ますように言葉を掛ける。

寝太 お気持ちお察しします。

先生無言で寝太郎の頭を叩く。

く終わりく